Ⅲ　改善策

平成２９年度全国学力・学習状況調査の結果に見られる本県の課題の改善に向けて，千葉県教育委員会は，ちばっ子「学力向上」総合プラン（ファイブ・アクション）の各事業内容を点検するとともに，重点的に取り組むべきことについて，市町村教育委員会と連携して，各学校の指導改善を支援していきます。

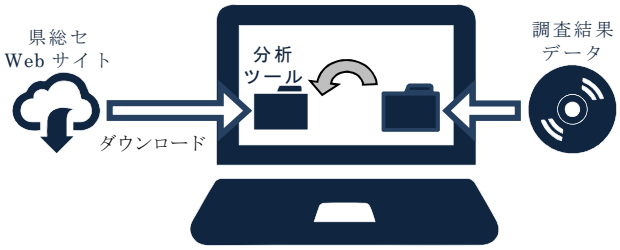
また，支援の一環として，次の１～５を示します。

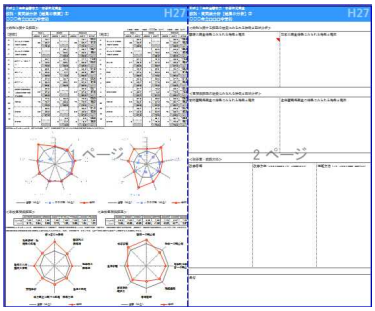
１　分析ツール	結果分析のためのデータ処理作業を簡便化し，分析結果を見やすいグラフに可視化するソフトを，千葉県総合教育センターのＷｅｂサイトで提供しています。 ８５ページ参照
２　みんなで，それぞれの立場で指導改善	指導改善に当たり，教育委員会及び学校が取り組む内容を例示します。 ８６ページ参照
３　指導改善サイクル確立のための情報	学校が指導改善サイクルを運営する際に必要な業務内容及び手順等を例示します。 ８７ページ参照 チェックシートは９８ページ参照
４　地域別の傾向	千葉県教育庁教育事務所ごとの分析結果を掲載します。 ８８～９７ページ参照
５　学力向上に役立つ情報（Ⅳ資料　２）	ちばっ子「学力向上」総合プランをはじめとする千葉県教育委員会の取組や，文部科学省・国立教育政策研究所の全国学力・学習状況調査関連の資料等についての情報を，まとめて分かりやすく掲載します。 １０１～１０３ページ参照

１　分析ツール

市町村教育委員会及び学校による全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく成果と課題の実態把握や指導改善サイクルの確立を支援するため，千葉県総合教育センターでは，分析ツールを提供しています。

分析ツールとは

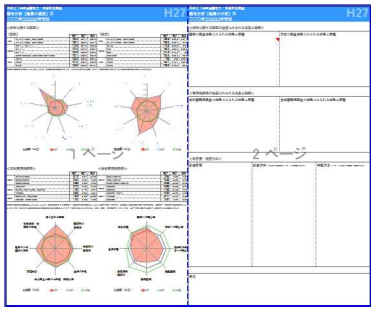



教科・質問紙シート

分析ツールは，文部科学省から配付された調査結果データを自動計算するソフトです。主に以下のことをすることができます。

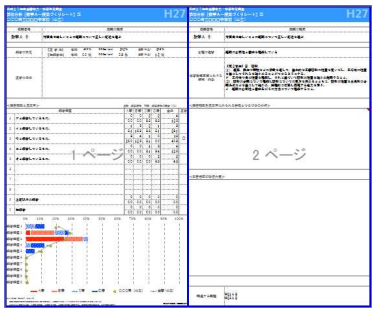
○教科・質問紙分析ツール

教科（国語，算数･数学）や質問紙（学校質問紙，児童生徒質問紙）について，チャート図で調査結果の全体概要を把握することができます。また，課題がみられる項目や成果を確認することができます。さらに過去の調査結果を同時に読み込ませることにより，経年変化の分析や，指導改善の成果を確認することができます。


経年分析シート

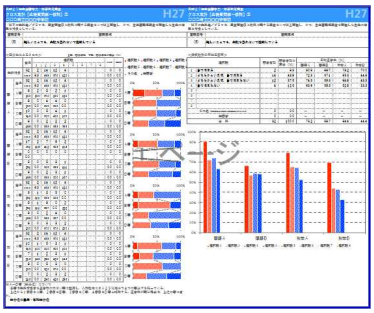
○誤答分析ツール

教科（国語，算数･数学）に関する調査で，課題がみられた項目や設問について，解答類型ごとの反応率を分析することができます。児童生徒の学習のつまずきを確認することができます。


誤答分析シート

○クロス集計ツール

児童生徒質問紙調査で課題がみられた項目や質問について，調査に関する調査結果との相関を分析することができます。児童生徒の生活習慣や学習習慣と学力の関係を確認することができます。


クロス集計シート

簡易な操作*で「教科･質問紙シート」,「経年分析シート」,「誤答分析シート」,「クロス集計シート」を作成することができます。各シートには数値やグラフが自動で表示されますので，成果と課題を視覚的に把握することができます。

＊マニュアルも同時にダウンロードできます。

分析ツールの入手方法（千葉県総合教育センターのＷｅｂサイトからダウンロードしてください）

※ダウンロードに必要なパスワードは，
県指導課学力向上室長発の文書
（平成２９年９月４日付　事務連絡）

２　みんなで，それぞれの立場で指導改善

全国学力・学習状況調査を活用した指導改善を進めるに当たり，千葉県教育委員会が取り組む内容を示すとともに，市町村教育委員会及び学校が取り組む内容を例示しました。各市町村及び各学校の実態に合わせて指導改善を進めてください。

千葉県教育委員会	○本県の結果を分析し，成果と課題を明確にし，県民に公開するとともに，教育施策の検証・改善を図る。 ○「分析ツール」を提供し，各市町村教育委員会及び各学校の結果分析及び指導改善を支援する。 ○「指導改善サイクルの例」「学力向上に役立つ情報」を提供し，各学校の指導改善を支援する。
市町村教育委員会	○自市町村の結果分析，教育施策の検証・改善及び学校への支援等を行う組織を整える。 ○市町村の結果を分析し，成果と課題を明確にするとともに，教育施策の検証・改善を図る。 ○管内の学校の結果分析及び指導改善を支援する。
学校	**体制づくり** ○結果分析及び指導改善策の立案を行う校内組織を整える。 ○市町村教育委員会と連携し，必要な支援を受ける。 **企画・調整** ○本調査を活用した指導改善サイクルを策定し，年間行事予定に組み込む。 ○本調査に関する資料や学力向上に役立つ情報を管理・収集し，校内での情報共有を図る。 **分析** ○県作成の「分析ツール」等を用いて自校の結果データを分析し，成果と課題を明確にする。 ○各教科で誤答分析シートを作成し，指導改善の具体策を策定する。 ○調査対象以外の学年や教科においても，分析結果を共通理解した上で，それぞれ指導改善の具体策を策定する。 **指導改善** ○分析結果に基づき策定された指導改善策を実行・検証する。 ○授業研究を伴う校内研修の充実を図る。 ○他学年・他教科と連携し，学校全体で課題を共有する。 **情報公開** ○成果と課題，指導改善策について，家庭・地域に情報提供を行い，連携を深める。

３　指導改善サイクルの例

各学校において全国学力・学習状況調査を活用した指導改善サイクルを運営していくためには，全職員が一体となり，家庭・地域と連携して，組織的・計画的に取り組む必要があります。次の例及び留意点を参考にして，各学校の実態に合わせて指導改善サイクルを確立してください。

（例）

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">国・県の動き</th><th colspan="3">校内の動き</th></tr>
<tr><th>業務</th><th colspan="2">指導改善のあり方</th></tr>
<tr><td>４月</td><td>国：調査実施（問題・正答例・解説資料）</td><td>指導計画作成，指導改善サイクルの策定，
授業開始
調査内容の把握</td><td rowspan="10">研究授業（随時）</td><td rowspan="5">調査内容及び解説資料を反映させる</td></tr>
<tr><td>５月</td><td>国：集計支援ツール</td><td rowspan="2">解説資料の研究
研修（指導改善策の検討）</td></tr>
<tr><td>６月</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>７月</td><td>国：サンプルデータ</td><td rowspan="2">分析準備
研修（結果データの見方）</td></tr>
<tr><td>８月</td><td>国：結果（データＣＤ・報告書・個票）</td></tr>
<tr><td>９月</td><td>国：授業アイディア例
県：分析ツール</td><td>結果公表
結果分析
研修（分析結果の報告，授業アイディア例の研究）
指導改善策の策定</td><td rowspan="2">分析結果及び授業アイディア例を反映させる</td></tr>
<tr><td>10月</td><td>県：リーフレット</td><td>指導改善策の公表</td></tr>
<tr><td>11月</td><td>県：学力向上交流会
国：次年度調査の準備開始</td><td rowspan="4">研修（指導改善状況の確認）</td><td rowspan="4">指導改善による成果を評価する</td></tr>
<tr><td>12月</td><td>県：報告書</td></tr>
<tr><td>１月</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>２月</td></tr>
<tr><td>３月</td><td>指導改善サイクルの総括
次年度の指導体制づくり</td><td></td></tr>
</table>

（留意点）

○全国学力・学習状況調査に係る情報管理，結果分析，指導改善策の策定・評価等を行う校内組織を整える。
○学校全体で取り組む。
○年間を通じて，継続的，段階的に指導改善を行う。
○国・県・市町村から届く資料等に対応し，速やかに分析・立案等を行う。
○県作成の分析ツールを活用する。
○国立教育政策研究所，県教育委員会，県総合教育センター等のＷｅｂサイトにある学力向上に役立つ情報（１０１～１０３ページ参照）を活用する。
○校内・校外研修を活用する。
○指導改善の成果を評価する時期・方法を具体化する。
○調査の分析結果について，近隣の小中学校と成果と課題を共有する。
○家庭・地域への情報公開を積極的に行う。
○指導改善サイクルを可視化し，共有する。

４　地域別の傾向【葛南】

教科についての傾向と課題

＊例示した設問は，以下のうち，特徴的なものである。
　○正答率が全国と比べて低いもの
　○正答率そのものが低いもの
＊［　］内の学年は，学習学年を示している。

小学校・国語

「活用（Ｂ問題）」は良好である。「書くこと」の領域が前年度より低下している。

国語Ａ２二「手紙の後付けに必要な，日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する」［５・６年］(P14)

国語Ａ４一「俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する」［読５・６年，伝３・４年］(P15)

中学校・国語

「話すこと・聞くこと」の領域は前年度より上昇しており，「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が前年度より低下している。

国語Ａ９三ア「適切な語句を選択する（えりを正して話を聞く）」［１年］(P24)

国語Ａ９六１「楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する」［１年］(P88)

国語Ａ９六２「行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する」［１年］(p88)

小学校・算数

「知識（Ａ問題）」は前年度と同程度であり，「量と測定」の領域が前年度より上昇している。

算数Ａ２(3)「６＋０．５×２を計算する」［４年］(P34)

算数Ａ９(2)「二次元表の合計欄に入る数を書く」［４年］(P35)

中学校・数学

「記述式」の問題形式は前年度より上昇しており，「関数」の領域が前年度より低下している。

数学Ａ14(2)「6 月 1 日から 30 日までの記録を表した度数分布表から，ある階級の相対度数を求める」［１年］(P45)

数学Ａ14(1)「反復横とびの記録の範囲を求める」［１年］(P88)

数学Ａ９「長方形の縦の長さと面積の関係を，「…は…の関数である」という形で表現する」［１年］

課題が見られた設問の例

小学校算数【Ａ１(2)】［５年］

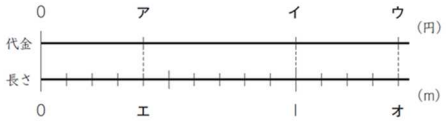
１ｍあたりの値段が 60 円のリボンを何ｍか買います。

そのときの代金の求め方を考えます。

(2) リボンを 0.4 ｍ買います。このときの代金を□円として，リボンの長さと代金の関係を下の図に表します。

「１ｍあたりの値段の 60」，「買う長さの 0.4」，「0.4 ｍ分の代金の□」のそれぞれの場所は，下の図のどこになりますか。

ア から **オ** までの中から，あてはまるものを１つずつ選んで，その記号を書きましょう。



中学校数学【Ａ１４(1)】［１年］

14　次の(1)，(2)の各問いに答えなさい。

(1) 次の**記録**は，ある中学校の生徒７人が反復横とびを 20 秒間行ったときの結果を，回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

40	46	47	48	53	53	56

（単位：回）

反復横とびの**記録**の範囲を求めなさい。

中学校国語【Ａ９六１・２】［１年］

六　書写の時間に「和」という字を次のように行書で書きました。これを見て，あとの問いに答えなさい。

1　楷書（かいしょ）と比較したときの行書の説明として最も適切なものを，次の**1**から**4**までの中から一つ選びなさい。

1　楷書とは異なり，毛筆で書くことができる書体。
2　楷書とは異なり，筆脈を意識せずに書くことができる書体。
3　楷書よりも点画を崩さずに書くことができる書体。

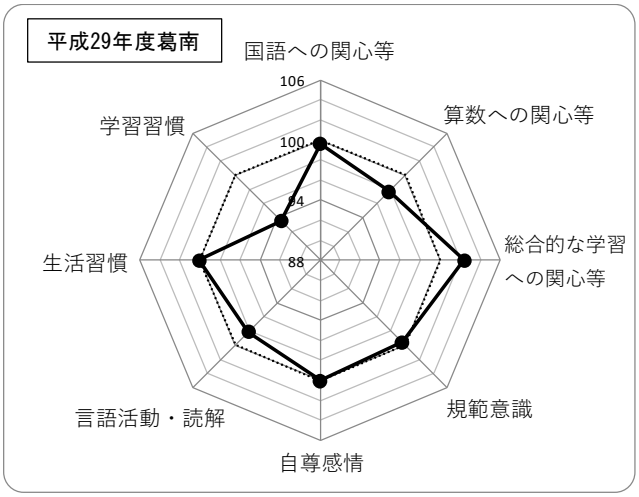
2　「和」の◯で囲まれた部分のアとイの特徴の組み合わせとして最も適切なものを，次の**1**から**4**までの中から一つ選びなさい。

1　ア　筆順の変化　イ　点画の連続
2　ア　点画の省略　イ　直線的
3　ア　点画の省略　イ　点画の連続
4　ア　筆順の変化　イ　直線的

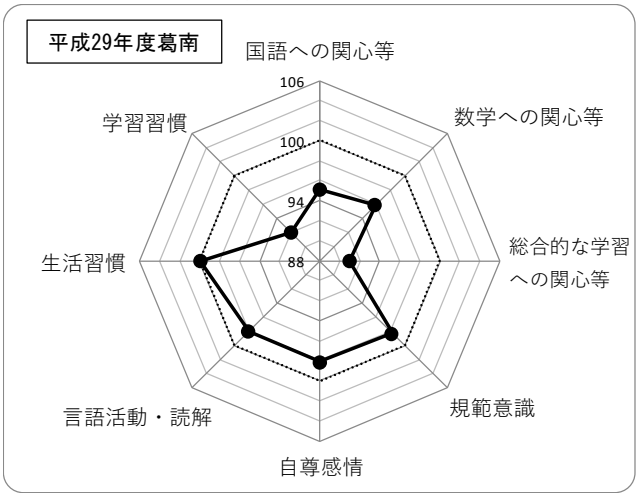
生活習慣や学習環境等について

＊チャート図は，全国平均を１００としたときの指数で示している。

児童質問紙から



生徒質問紙から

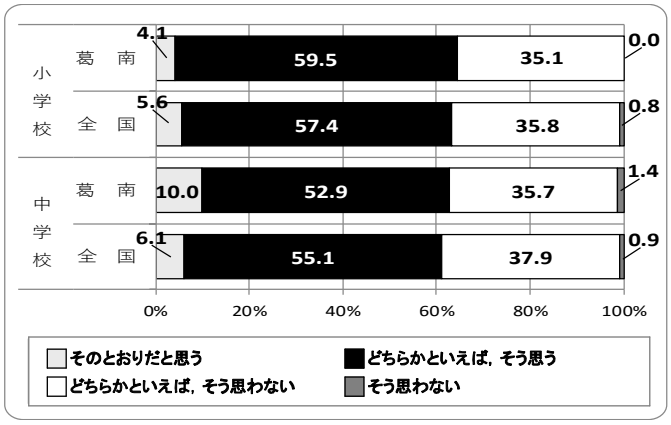


「国語への関心等」「総合的な学習への関心等」について，児童は全国と比べて高い傾向だが，生徒は低い傾向にある。児童生徒ともに「学習習慣」の【児童 29・生徒 31】「家で，自分で計画を立てて勉強をしている」が，全国と比べて低い傾向にある。

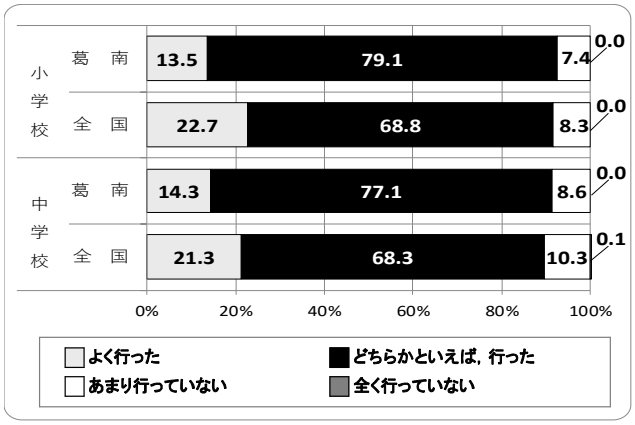
学校質問紙から『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

＊各グラフは，「無回答」「その他」を除いて作成してあり，合計が 100%とならない場合がある。

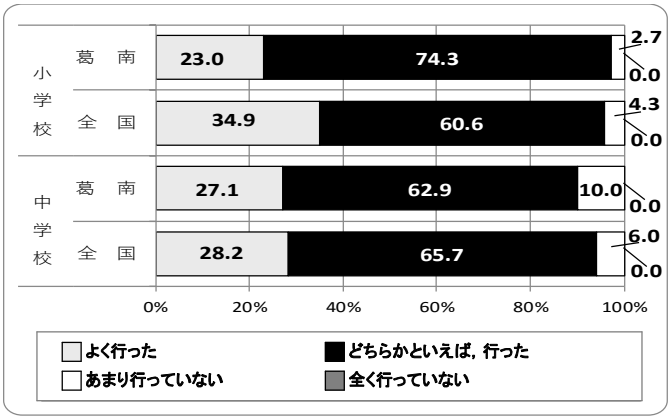
19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか



32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



肯定的回答の割合は，

【１９】の項目では，小学校は全国と同程度であり，中学校は全国と比べてやや高い。

【３２】の項目では，小中学校ともに全国と比べてやや高いが，「よく行った」の回答が低い状況にある。

【３６】の項目では，小学校は全国と比べてやや高いが，「よく行った」の回答が低い状況にある。中学校は全国と比べてやや低い。

４　地域別の傾向【東葛飾】

教科についての傾向と課題

＊例示した設問は，以下のうち，特徴的なものである。
　○正答率が全国と比べて低いもの
　○正答率そのものが低いもの
＊［　］内の学年は，学習学年を示している。

小学校・国語

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は前年度より上昇しており，「書くこと」の領域が前年度より低下している。

国語Ａ２二「手紙の後付けに必要な，日付，署名，宛て名のそれぞれの位置について，適切なものを選択する」［５・６年］(P14)

国語Ａ４一「俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する」［読５・６，伝３・４年］(P15)

国語Ａ７(2)「漢字を書く（４年生のきぼう者）」［５・６年］

中学校・国語

「話すこと・聞くこと」の領域は前年度より上昇しており，「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が前年度より低下している。

国語Ａ９三ア「適切な語句を選択する（えりを正して話を聞く）」［１年］(P24)

国語Ａ９六１「楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する」［１年］(P88)

国語Ａ９五「話合いの記録として適切な言葉を考える」［１年］(P25)

小学校・算数

「図形」の領域は前年度と同程度であり，「数量関係」が前年度より低下している。

算数Ａ２(3)「６＋０．５×２を計算する」［４年］(P34)

算数Ａ９(2)「二次元表の合計欄に入る数を書く」［４年］(P35)

算数Ｂ３(2)「仮の平均の考えを活用して，測定値の平均を求める」［量５年，関４年］(P90)

中学校・数学

「図形」の領域は前年度より上昇しており，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

数学Ａ10(2)「与えられた比例のグラフから，x と y の関係を y＝ax の式で表すことができる」［１年］(P44)

数学Ａ14(2)「６月１日から 30 日までの記録を表した度数分布表から，ある階級の相対度数を求める」［１年］(P45)

数学Ｂ５(1)「１週間の総運動時間が 420 分のとき，含まれる階級の度数を求める」［１年］

課題が見られた設問の例

小学校算数【Ｂ３(2)】［量５年，関４年］

3

かずやさんたちは，ゴムの力で動く車を作りました。

下の図のように車と発射台を輪ゴムでつなぎ，車を引いて輪ゴムをのばしてから放すと，車が進みます。車の先頭が，図の㋐の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合と，㋑の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合に，どれだけ車が進むのかを調べます。

次に，車の先頭が㋑の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の，車が進んだきょりを５回調べ，**表2**のようにまとめました。**表2**をもとに，きょりの平均を考えます。

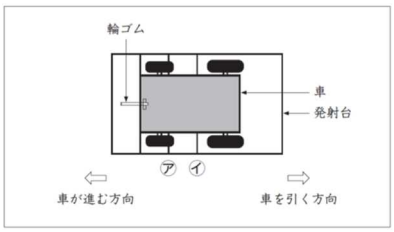


表2　㋑の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の記録

回数	車が進んだきょり
1	7 m 52 cm
2	7 m 31 cm
3	7 m 54 cm
4	7 m 20 cm
5	7 m 43 cm

かずやさんは，平均を求める計算を簡単にするために，７ｍをこえた部分に着目し，次のように平均を求めました。

【かずやさんの平均の求め方】

７ｍをこえた部分の平均を求めます。
（52 ＋ 31 ＋ 54 ＋ 20 ＋ 43）÷ 5 ＝ 40
７ｍに，求めた平均の 40 cm をたします。
車が進んだきょりの平均は，７ｍ 40 cm です。

【かずやさんの平均の求め方】を聞いたはるなさんは，次のように考えました。

はるな

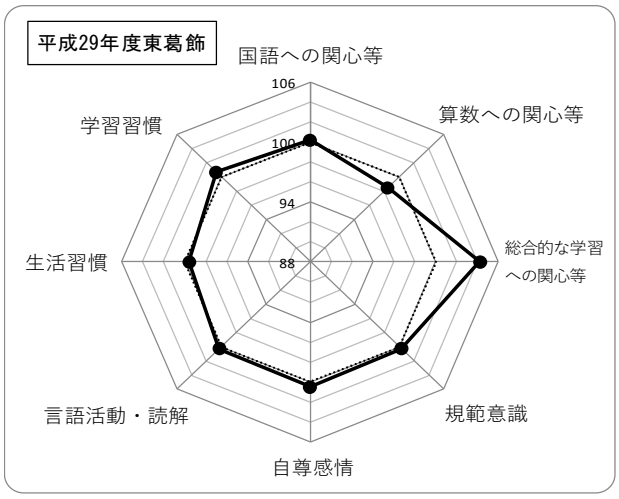
７ｍのかわりに，７ｍ 20 cm をこえた部分に着目しても，平均を求めることができます。

(2)　７ｍ 20 cm をこえた部分に着目した平均の求め方を，言葉や式を使って書きましょう。

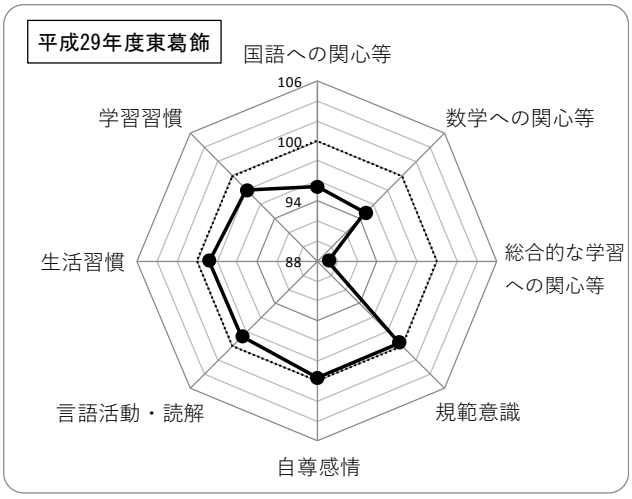
生活習慣や学習環境等について

＊チャート図は，全国平均を１００としたときの指数で示している。

児童質問紙から



生徒質問紙から

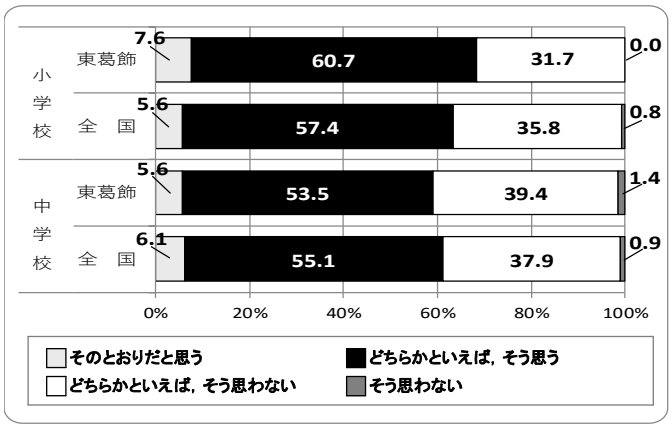


「国語への関心等」「総合的な学習への関心等」について，児童は全国と比べて高い傾向だが，生徒は低い傾向にある。児童生徒ともに「規範意識」「自尊感情」が，全国と比べて高い傾向にある。

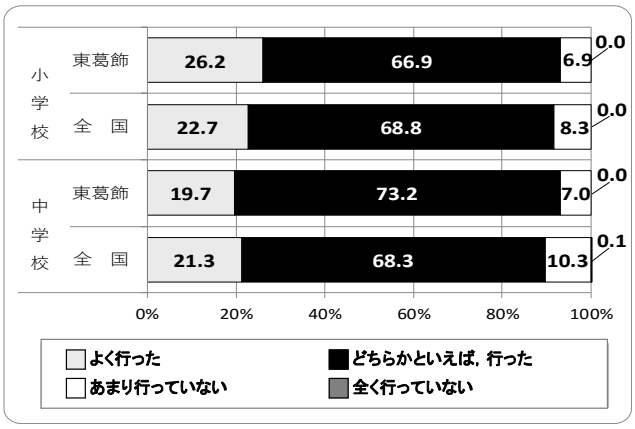
学校質問紙から『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

＊各グラフは，「無回答」「その他」を除いて作成してあり，合計が 100%とならない場合がある。

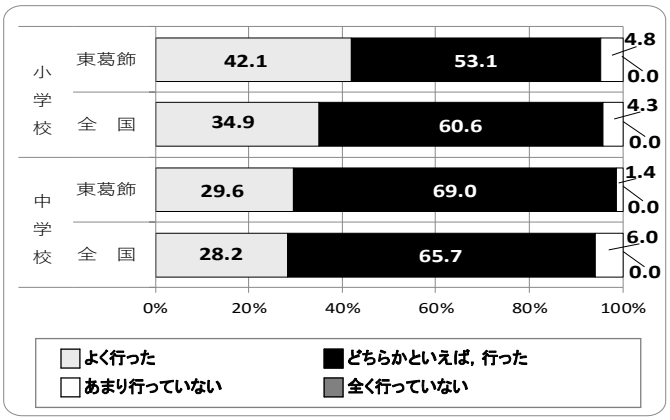
19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか



32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



肯定的回答の割合は，

【１９】の項目では，小学校は全国と比べて高く，中学校はやや低い。

【３２】の項目では，小中学校ともに全国と比べてやや高い。小学校は「よく行った」の回答が高い状況にある。

【３６】の項目では，中学校は全国と比べてやや高い。小中学校ともに「よく行った」の回答が高い状況にある。

４　地域別の傾向【北総】

教科についての傾向と課題

＊例示した設問は，以下のうち，特徴的なものである。
　○正答率が全国と比べて低いもの
　○正答率そのものが低いもの
＊［　］内の学年は，学習学年を示している。

小学校・国語

「記述式」の問題形式は前年度より上昇しており，「聞くこと・話すこと」の領域が前年度より低下している。

国語Ａ１「学級文集のタイトルを決める話合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する」［３・４年］(P14)

国語Ａ４一「俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する」［読５・６年，伝３・４年］(P15)

国語Ｂ２三「水やりに協力してくれる人をぼ集します」の［　イ　］に入る内容を，中学生からの【アドバイス】を基に書く」［５・６年］

中学校・国語

「読むこと」の領域は前年度と同程度であり，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

国語Ａ９一１「漢字を書く（組織のキボを大きくする）」［２年］

国語Ａ９六１「楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する」［１年］(P88)

国語Ａ９五「話合いの記録として適切な言葉を考える」［１年］(P25)

小学校・算数

「記述式」の問題形式は前年度より上昇しており，「量と測定」の領域が前年度より低下している。

算数Ａ２(3)「６＋０．５×２を計算する」［４年］(P34)

算数Ｂ２(1)「小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の，料金の差の求め方と答えを書く」［２・３年］(P92)

算数Ｂ３(2)「仮の平均の考えを活用して，測定値の平均を求める」［量５年・関４年］(P90)

中学校・数学

「活用（Ｂ問題）」は前年度より上昇しており，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

数学Ａ５(1)「直方体において，与えられた辺に平行な面を書く」［１年］(P92)

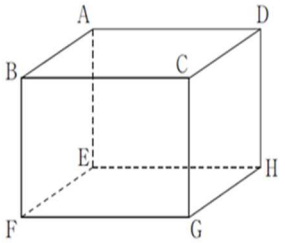
数学Ａ10(2)「与えられた比例のグラフから，ｘとｙの関係をｙ＝ａｘの式で表すことができる」［１年］(P44)

数学Ａ14(2)「6 月 1 日から 30 日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める」［１年］

課題が見られた設問の例

中学校数学【Ａ５(1)】［１年］

（1）次の図の直方体には，辺CGに平行な面がいくつかあります。そのうちの直方体の面を１つ選んで書きなさい。



小学校算数【Ｂ２(1)】［２・３年］

ゆりえさんたちは，交流会に来てくれた地域の方 20 人に，お礼の手紙と記念品をいっしょに封筒に入れて送ろうとしています。

１通送るのにかかる料金は，封筒の大きさと重さによって，次のように決まっています。

１通送るのにかかる料金

封筒の大きさ	封筒の重さ	料金
小さい封筒	25ｇ以内	82 円
	50ｇ以内	92 円
大きい封筒	50ｇ以内	120 円
	100ｇ以内	140 円
	150ｇ以内	205 円

手紙と記念品を小さい封筒に入れると，１通の重さは 27ｇになりました。また，大きい封筒に入れると，１通の重さは 36ｇになりました。ゆりえさんたちは，料金をできるだけ安くするために，小さい封筒に入れて送ることにしました。

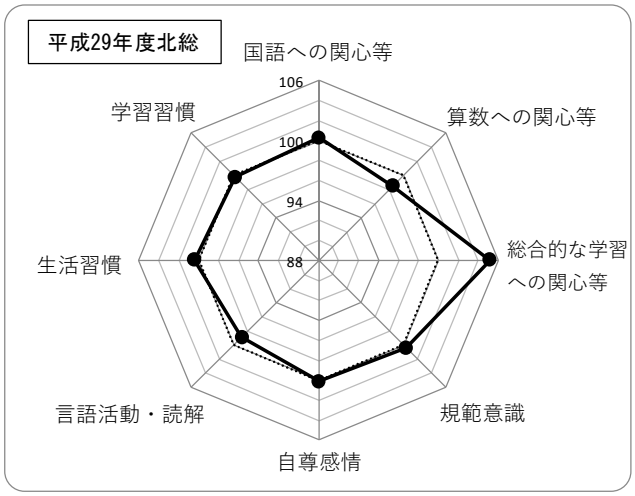
(1) 手紙と記念品を封筒に入れて，20 通送るときの料金について考えます。小さい封筒に入れて送る場合は，大きい封筒に入れて送る場合と比べて，何円安くなりますか。

求め方を言葉や式を使って書きましょう。また，答えも書きましょう。

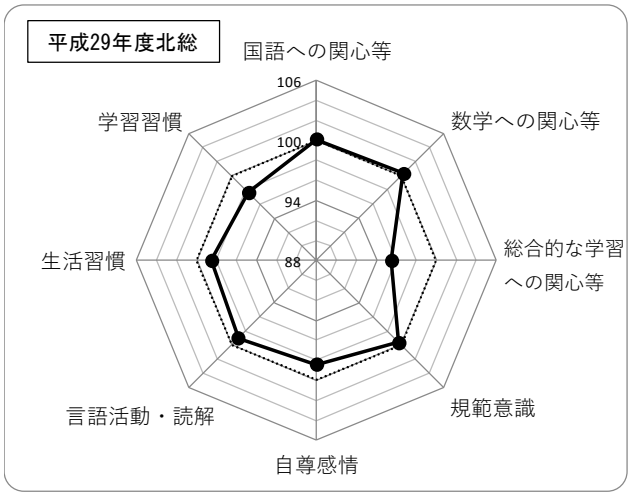
生活習慣や学習環境等について

＊チャート図は，全国平均を１００としたときの指数で示している。

児童質問紙から



生徒質問紙から

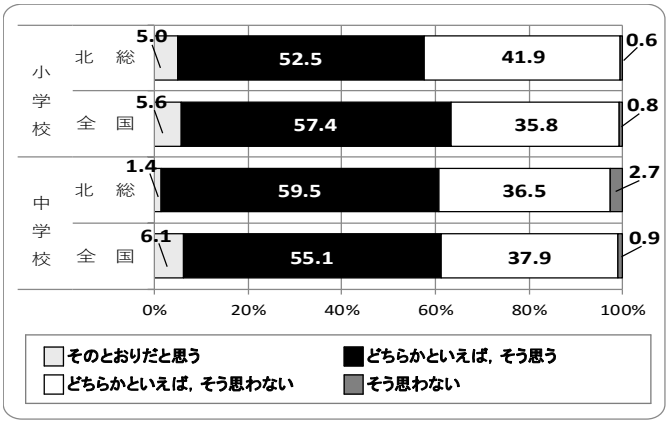


児童生徒ともに「国語への関心等」「規範意識」が，全国と比べて高い傾向にある。「総合的な学習への関心等」については，児童は全国と比べて高い傾向にあるものの生徒は低い傾向にある。

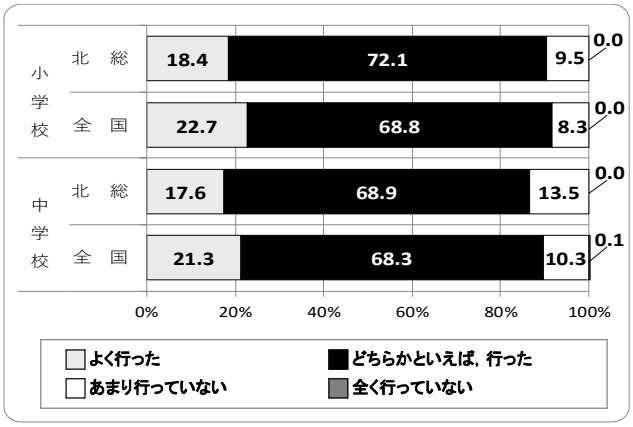
学校質問紙から『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

＊各グラフは，「無回答」「その他」を除いて作成してあり，合計が 100%とならない場合がある。

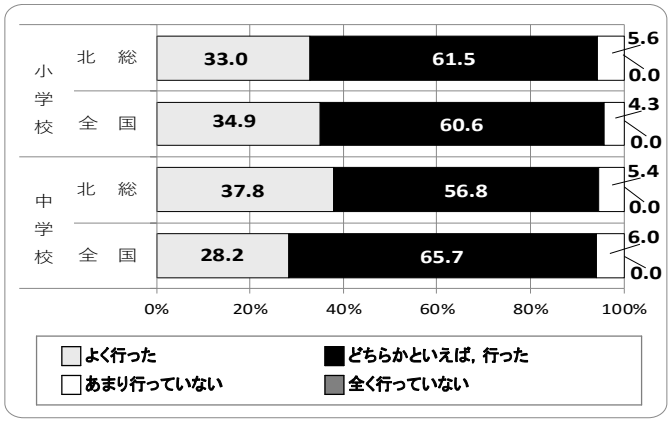
19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか



32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



肯定的回答の割合は，

【１９】の項目では，小学校は全国と比べて低く，中学校は全国と同程度である。

【３２】の項目では，小学校は全国と同程度であり，中学校は全国と比べてやや低い。

【３６】の項目では，小学校は全国と比べてやや低い。中学校は「よく行った」の回答が高い状況にある。

４　地域別の傾向【東上総】

教科についての傾向と課題

＊例示した設問は，以下のうち，特徴的なものである。
　○正答率が全国と比べて低いもの
　○正答率そのものが低いもの
＊［　］内の学年は，学習学年を示している。

小学校・国語

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は前年度より上昇しており，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

国語Ａ１「学級文集のタイトルを決める話合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する」［３・４年］(P14)

国語Ａ３「学校新聞を書くために，「時の記念日」についての【資料】から，小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する」［３・４年］(P94)

国語Ａ７(1)「漢字を書く（参加たいしょう）」［５・６年］

中学校・国語

「書くこと」の領域は前年度より上昇しており，「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が前年度より低下している。

国語Ａ９－１「漢字を書く（組織のキボを大きくする）」［２年］

国語Ａ９三ア「適切な語句を選択する（えりを正して話を聞く）」［１年］(P24)

国語Ｂ１三「比喩を用いた表現に着目し，感じたことや考えたことを書く」［１年］(P25)

小学校・算数

「量と測定」の領域は前年度より上昇しており，「数と計算」の領域が前年度より低下している。

算数Ａ１(2)「買ったリボンの長さと，１ｍ当たりのリボンの値段と，代金が，それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ」［５年］(P88)

算数Ａ２(2)「１０．３＋４を計算する」［４年］(P34)

算数Ａ２(3)「６＋０．５×２を計算する」［４年］(P34)

中学校・数学

すべての各領域が前年度より上昇しており，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

数学Ａ３(2)「具体的な場面で，一元一次方程式をつくることができる」［１年］(P94)

数学Ａ５(4)「円柱の体積を求める」［１年］(P44)

数学Ａ10(3)「反比例の表から比例定数を求める」［１年］

課題が見られた設問の例

中学校数学【Ａ３(1)・(2)・(4)】［１・２年］

（１）一次方程式 $4x = 7x + 15$ を解きなさい。

（２）折り紙を何人かの生徒に配るのに，１人に６枚ずつ配ると 16 枚余ります。また，１人に８枚ずつ配ると４枚たりません。
生徒の人数を求めるために，生徒の人数を x 人として，方程式をつくりなさい。ただし，つくった方程式を解く必要はありません。

（４）連立方程式 $\begin{cases} x + y = 5 \\ \dfrac{x}{6} + \dfrac{y}{3} = 1 \end{cases}$ を解きなさい。

小学校国語【Ａ３】［３・４年］

3

新聞委員の小野さんと今村さんは、「時の記念日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの〈問い〉に答えましょう。

【資料】　段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

「時の記念日」はどんな日？

1　昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水や砂の落ち方、線香の燃え方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国から伝わった「漏刻」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であったと言われています。

2　「日本書紀」には、「天智天皇の十年四月二十五日（今のこよみでは六七一年六月十日）に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時の記念日」となりました。

3　「時の記念日」は、時間を守って行動し、規則正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとする意識を高めていくために定められたとされています。

4　「時の記念日」は、国民の祝日には制定されていませんが、多くの人々によく知られる記念日となっています。

5　現在、六月十日には時間や時計に関する催しが行われているところもあります。

〈問い〉　小野さんは、「なぜ六月十日が『時の記念日』なのか」、今村さんは、「なぜ『時の記念日』を設定したのか」についてまとめています。二人は【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

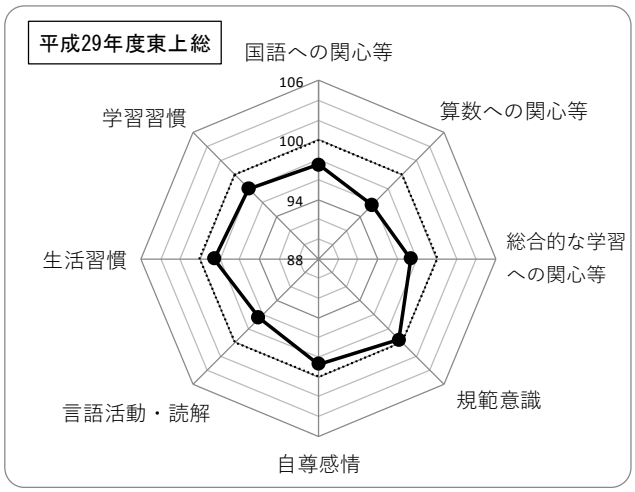
小野さん……□　□

今村さん……

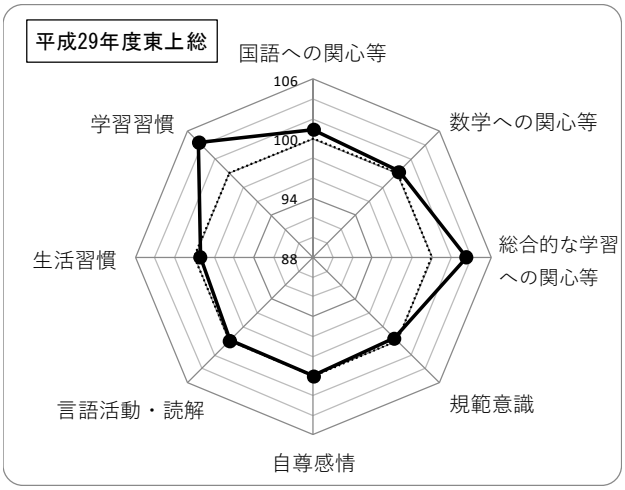
生活習慣や学習環境等について

＊チャート図は，全国平均を１００としたときの指数で示している。

児童質問紙から



生徒質問紙から

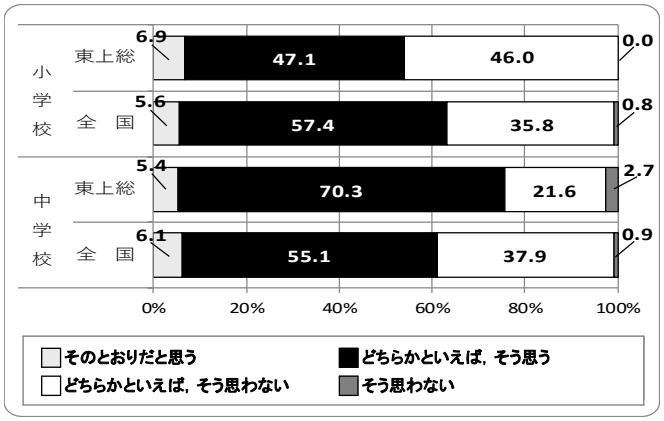


「国語への関心等」「算数・数学への関心等」「総合的な学習への関心等」「言語活動・読解力」「学習習慣」について，児童は全国と比べて低い傾向だが，生徒は高い傾向にある。

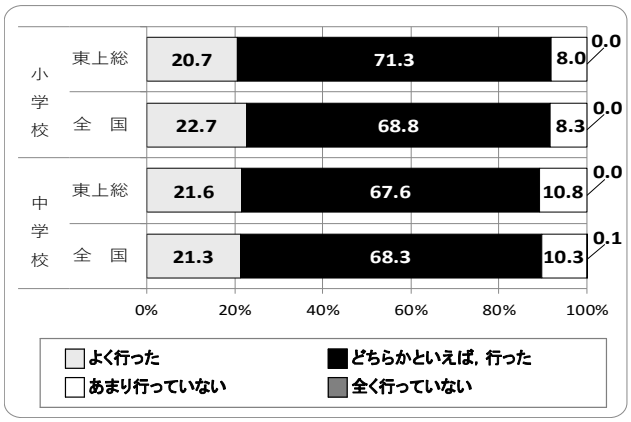
学校質問紙から『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

＊各グラフは，「無回答」「その他」を除いて作成してあり，合計が 100%とならない場合がある。

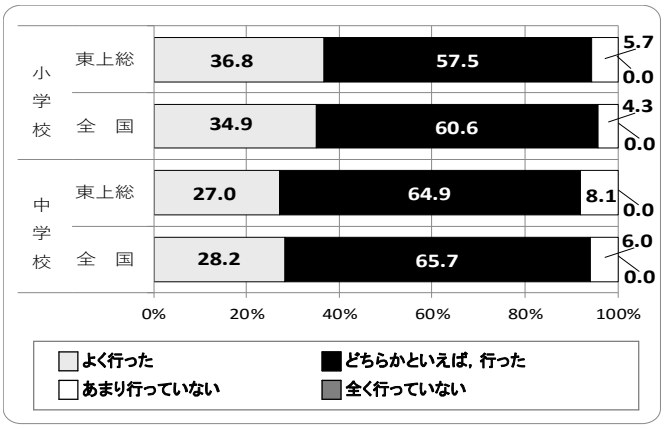
19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか



32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



肯定的回答の割合は，

【１９】の項目では，小学校は全国と比べて低く，中学校は著しく高い。

【３２】の項目では，小中学校ともに全国と比べて同程度である。

【３６】の項目では，小中学校ともに全国と比べてやや低い。

４　地域別の傾向【南房総】

教科についての傾向と課題

＊例示した設問は，以下のうち，特徴的なものである。
　○正答率が全国と比べて低いもの
　○正答率そのものが低いもの
＊［　］内の学年は，学習学年を示している。

小学校・国語

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は前年度より上昇しており，「話すこと・聞くこと」の領域が低下している。

国語Ａ１「学級文集のタイトルを決める話合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する」［３・４年］(P14)

国語Ｂ１三「折り紙のみりょくについて，スピーチメモとグループの話合いで出された意見を基に書く」［５・６年］

中学校・国語

「話すこと・聞くこと」の領域は定着してきているが，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

国語Ａ９－１「漢字を書く（組織のキボを大きくする）」［２年］

国語Ａ９三イ「適切な語句を選択する（よい結果を早く出したいときは，急がば回れといわれるように，かえって慎重に議論を進めるべきだ）」［１年］(P24)

小学校・算数

「活用（Ｂ問題）」に課題が見られるが，「記述式」の問題形式が前年度より上昇している。

算数Ａ２(2)「１０．３＋４を計算する」［４年］(P34)

算数Ａ５「示された平行四辺形の面積の，半分の面積である三角形を正しく選ぶ」［５年］(P34)

算数Ｂ１(3)「２けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く」［４・５年］(P35)

中学校・数学

「活用（Ｂ問題）」は前年度より上昇していが，「記述式」の問題形式が前年度より低下している。

数学Ａ２(4)「等式 x＋４y＝１ を y について解く」［２年］(P96)

数学Ａ４(3)「半径が５cm，中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める」［１年］

数学Ｂ４(1)「２つの角の大きさが等しいことを，三角形の合同を利用して証明する」［２年］(P96)

課題が見られた設問の例

小学校算数【Ａ６】［５年］

点Ｏを中心とする円を使って，図１のような正五角形をかきます。
図１の点Ａ，点Ｂ，点Ｃ，点Ｄ，点Ｅは正五角形の頂点（ちょうてん）です。

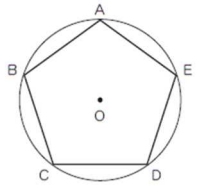


図１

まず，図２のように半径をかき，円周と交わった点を点Ａとします。
次に，図３のように半径をかいて点Ｂの位置を決めます。このとき，角㋐の大きさは何度にすればよいですか。答えを書きましょう。

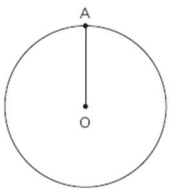


図２

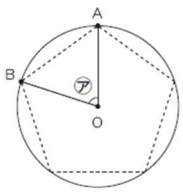
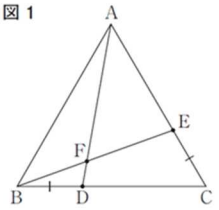


図３

中学校数学【Ｂ４(1)】［２年］

4　下の図１のように，正三角形ＡＢＣの辺ＢＣ，ＣＡ上にＢＤ＝ＣＥとなる点Ｄ，Ｅをそれぞれとります。また，線分ＡＤと線分ＢＥの交点をＦとします。ただし，点Ｄは点Ｂ，Ｃと，点Ｅは点Ｃ，Ａと重ならないものとします。

図１

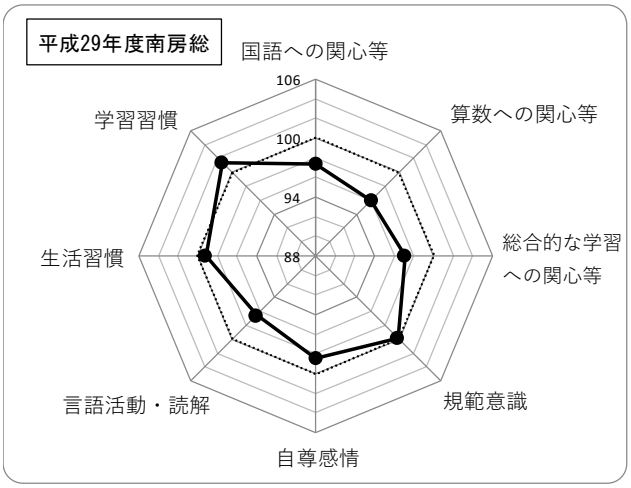


（１）図１において△ＡＢＤ≡△ＢＣＥを示し，それをもとにして，∠ＢＡＤ＝∠ＣＢＥであることが証明できます。∠ＢＡＤ＝∠ＣＢＥとなることの証明を完成しなさい。

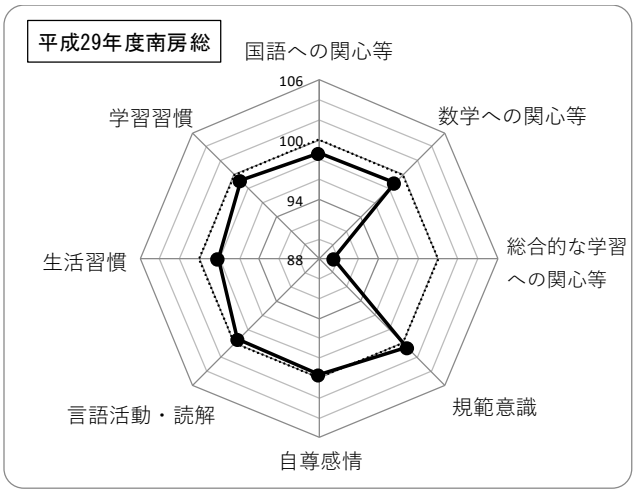
生活習慣や学習環境等について

＊チャート図は，全国平均を１００としたときの指数で示している。

児童質問紙から



生徒質問紙から

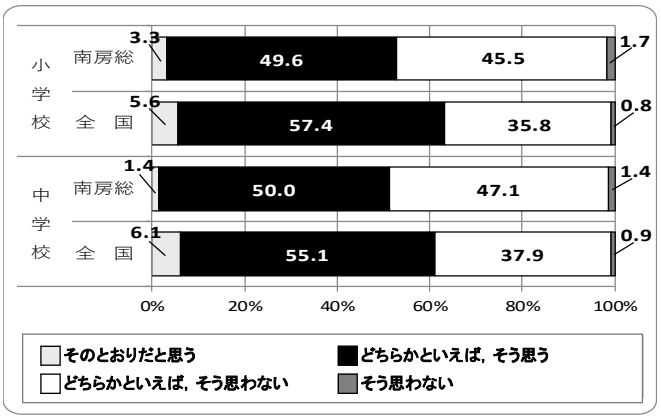


児童生徒ともに「国語への関心等」「算数・数学への関心等」「総合的な学習への関心等」が，全国と比べて低い傾向にある。児童の「言語活動・読解力」については，【６６】「４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しい」と感じている児童が多い。

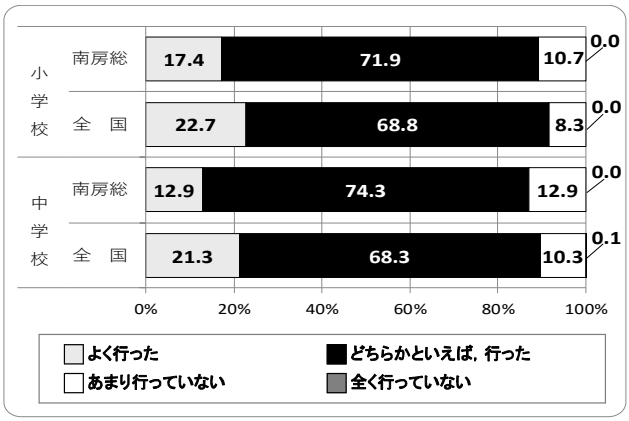
学校質問紙から『主体的・対話的で深い学びの充実に向けて』

＊各グラフは，「無回答」「その他」を除いて作成してあり，合計が 100%とならない場合がある。

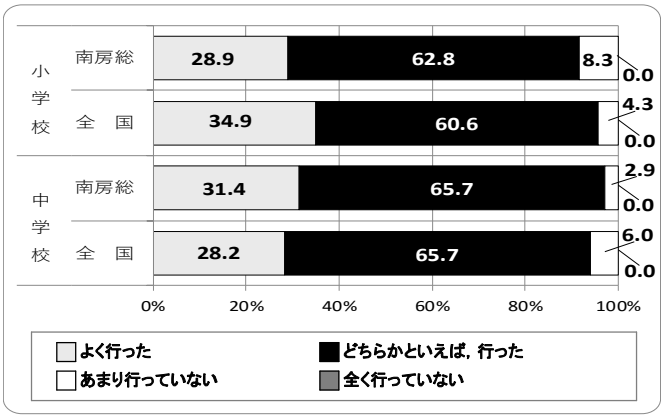
19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか



32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



肯定的回答の割合は，

【１９】の項目では，小学校は全国と比べて著しく低く，中学校は低い。

【３２】の項目では，小中学校ともに全国と比べてやや低い。小中学校ともに「よく行った」の回答が低い状況にある。

【３６】の項目では，小学校は全国と比べてやや低いが，中学校はやや高い。

○全国学力・学習状況調査を活用した指導改善サイクルのチェックシート例

全国学力・学習状況調査を活用した指導改善サイクルの運営状況を確認するためのチェックシートを例示します。各学校の実態に合わせて活用してください。

☑	チェック項目	実施日 等
調査実施前		
□	年間指導計画の作成に当たり，前年度までの調査内容や分析結果を参考にした	
□	指導改善サイクルを策定し，年間行事予定に組み込み，役割分担を確認した	
調査実施後		
□	全職員で調査内容を把握した	
□	調査関連資料をまとめて管理し，職員がいつでも閲覧できるようにした	
□	関係職員が**問題**を研究し，指導改善について協議した	
□	関係職員が**「解説資料」**を研究し，指導改善について協議した	
□	**問題**及び**「解説資料」**の研究に基づいた指導改善のための校内研修を行った	
結果公表後の分析		
□	**「報告書」**を研究し，課題や指導改善のポイントを把握した	
□	結果分析を行い，成果と課題を明らかにした	
	□ 教科区分ごとの平均正答率を全国並びに県平均と比較した ※	
	□ 学習指導要領の領域及び問題形式ごとの平均正答率を分析した ※	
	□ 設問ごとの正答率を分析した ※	
	□ 平均正答率の経年変化を分析した ※	
	□ 児童生徒質問紙及び学校質問紙の回答状況を全国及び県平均と比較した※	
	□ 質問項目ごとの回答状況について分析した ※	
	□ 質問紙の回答状況の経年変化を分析した ※	
	□ 教科と質問紙の相関について分析した ※	
□	分析結果を共有した	
	□ 学年で共有した	
	□ 教科部会で共有した	
	□ 学校全体で共有した	
指導改善		
□	**「授業アイディア例」**の研究を行った	
□	**分析ツール**を活用し，指導改善の具体策を立てた ※ （教科・質問紙シート，経年分析シート，誤答分析シート，クロス集計シート）	
□	分析結果に基づき指導改善策を策定し，共有した	
	□ 学年で共有した	
	□ 教科部会で共有した	
	□ 学校全体で共有した	
□	授業研究を伴う校内研修の充実を図った	
□	指導改善による成果の評価を行った	
□	成果と課題，指導改善策について，家庭・地域に情報提供を行った	

※　分析ツール（８５ページ参照）で検討資料の作成ができます。